



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3316 URL <http://www.tcs-net.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今泉 真一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)赤木 正人 TEL (03)5466-5530
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,009	16.0	87	93.6	88	90.1	41	44.6
23年3月期第1四半期	1,731	30.9	45	—	46	—	29	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 43百万円(62.7%) 23年3月期第1四半期 26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3,328 80	—
23年3月期第1四半期	2,302 12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,335	1,558	46.7
23年3月期	3,889	1,546	39.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,558百万円 23年3月期 1,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	2,500 00	2,500 00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0 00	—	2,500 00	2,500 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,140	13.9	52	△55.7	52	△56.6	24	△73.4	1,904 76
通期	8,780	△1.3	215	△15.4	215	△16.6	123	△19.0	9,761 90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	12,600株	23年3月期	12,600株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	—株	23年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	12,600株	23年3月期1Q	12,600株
----------	---------	----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により深刻な打撃を受け、一部に復興に向かう兆しが見られるものの、生産活動の停滞や物流機能の寸断の他、原発事故に伴う電力供給懸念、海外経済の動向や円高の継続により、先行き不透明感が強まる状況で推移いたしました。

当社グループの属するIT業界におきましては、ITベンダー間の激しい競争によるIT商品の低価格化が進む中、顧客のIT機器に対する災害対策によるIT投資需要が増加しているものの、対策後の投資案件が不透明なことから予断を許さない状況で推移してまいりました。また、人材派遣業界におきましては、雇用状況の悪化を反映し、派遣契約の継続契約の取りやめ等により、企業環境は依然厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは「情報化ライフサイクルサポーター」として、技術の優位性、業務の卓越性、顧客対応力を強化し、顧客にとってのベストソリューションを提供することにより、より付加価値の高いビジネスを展開し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大を軸に、受注高の確保とサービスビジネスの拡大を目指した営業活動を行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,009百万円(前年同期比277百万円増、16.0%増)、営業利益87百万円(前年同期比42百万円増、93.6%増)、経常利益88百万円(前年同期比41百万円増、90.1%増)、四半期純利益41百万円(前年同期比12百万円増、44.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

① 情報システム関連事業

情報システム関連事業は、競合先との激しい競争状態によるIT商品の低価格化が進む中、顧客のIT機器に対する災害対策需要により、ハードウェアビジネスを中心に受注が増加し、売上高は1,653百万円(前年同期比305百万円増、22.6%増)、セグメント利益(営業利益)は82百万円(前年同期比43百万円増、113.5%増)となりました。

② 人材派遣事業

人材派遣事業は、派遣契約の継続契約の取りやめが依然として続いている中、派遣スタッフの増加を目指す営業活動を行うとともに、経費削減努力を行ってまいりましたが、売上高は355百万円(前年同期比28百万円減、7.3%減)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比1百万円減、22.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が290百万円増加、受取手形及び売掛金が884百万円減少したことによるものであります。負債については1,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ566百万円減少しております。これは、買掛金が598百万円減少、未払法人税等が93百万円減少、前受金が129百万円増加したことによるものであります。純資産については1,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しております。これは、主に四半期純利益41百万円の計上がありましたが、配当による減少31百万円があったことにより、利益剰余金が10百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、顧客の災害対策に伴うIT投資需要が発生いたしました。一時的な投資によるものと考えられ、企業環境は依然先行き不透明感が強い状況で推移しており、当社グループへの影響が見通し難い状況であることから、現段階では平成23年5月13日発表の連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,594	848,144
受取手形及び売掛金	2,474,166	1,589,496
商品	154,033	149,094
仕掛品	8,631	8,893
貯蔵品	316	350
その他	287,384	288,249
貸倒引当金	△549	△222
流動資産合計	3,481,577	2,884,007
固定資産		
有形固定資産	58,819	97,656
無形固定資産		
ソフトウェア	73,047	67,625
その他	160	14,367
無形固定資産合計	73,207	81,992
投資その他の資産		
投資有価証券	38,715	41,871
その他	293,627	286,083
貸倒引当金	△56,140	△56,136
投資その他の資産合計	276,203	271,818
固定資産合計	408,229	451,466
資産合計	3,889,807	3,335,473
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,350,240	751,597
未払費用	180,409	184,620
未払法人税等	95,788	2,679
前受金	273,763	403,674
賞与引当金	92,100	44,914
その他	62,424	112,738
流動負債合計	2,054,726	1,500,225
固定負債		
退職給付引当金	270,966	237,419
役員退職慰労引当金	17,840	—
その他	—	39,241
固定負債合計	288,806	276,660
負債合計	2,343,533	1,776,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	232,665	243,107
株主資本合計	1,547,645	1,558,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,371	499
その他の包括利益累計額合計	△1,371	499
純資産合計	1,546,273	1,558,587
負債純資産合計	3,889,807	3,335,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,731,951	2,009,082
売上原価	1,464,941	1,690,342
売上総利益	267,010	318,739
販売費及び一般管理費	221,718	231,067
営業利益	45,292	87,672
営業外収益		
受取利息	4	75
受取配当金	1,128	221
貸倒引当金戻入額	—	330
その他	6	1
営業外収益合計	1,139	628
営業外費用		
支払利息	45	108
営業外費用合計	45	108
経常利益	46,385	88,192
特別利益		
貸倒引当金戻入額	599	—
特別利益合計	599	—
特別損失		
固定資産除却損	559	570
特別損失合計	559	570
税金等調整前四半期純利益	46,425	87,622
法人税、住民税及び事業税	1,882	875
法人税等調整額	15,536	44,803
法人税等合計	17,419	45,679
少数株主損益調整前四半期純利益	29,006	41,942
四半期純利益	29,006	41,942

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,006	41,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,085	1,871
その他の包括利益合計	△2,085	1,871
四半期包括利益	26,921	43,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,921	43,813
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,348,317	383,634	1,731,951	—	1,731,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,014	5,200	6,215	△6,215	—
計	1,349,331	388,835	1,738,166	△6,215	1,731,951
セグメント利益	38,644	6,648	45,292	—	45,292

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,653,487	355,594	2,009,082	—	2,009,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,488	9,249	10,738	△10,738	—
計	1,654,976	364,844	2,019,820	△10,738	2,009,082
セグメント利益	82,515	5,156	87,672	—	87,672

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。